

辺野古土砂北九州・ミニニュース

辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会《2019年2月22日・No74》
連絡先…森下 090-9495-3902 南川 090-2853-7116 八記 080-1730-8895
kanpanerura8k@mail.goo.ne.jp



マヨネーズ地層の改良工事に 7.7 万本の砂杭 最深の 90m に届かない 地盤改良の実績・最深は国内 65m、海外 70m

■最深 90m の工事はできない

先日、「国内での地盤改良の実績は最深 65m。海外でも最深 70m」と防衛省が認めました。砂杭の総数は約 7.7 万本。作業船が入れない浅瀬部分でも 1 万 3 千本以上の砂杭を打ち込むことになっています。

今回の地盤改良工事では、大浦湾側の 70% の軟弱地盤を砂と置き換えるようになっています。

■予算も工程も示せない安倍政権

昨年秋、沖縄県は、「工期 13 年・総工費 2 兆 5000 億円」と試算。しかしこの時は砂杭 2 万本を前提としていました。今回の地盤改良工事を前に、政府は辺野古の新基地がいつごろ完成するのか、工費がいくらくらいになるのか、示すことが出来ません。

■大量の海砂をどう調達するのか

砂杭に使用する砂の量は、東京ドーム 5.25 杯の約 650 万 m³ で、北九州市庁舎 58 杯分です。

沖縄県の砂利組合が保有する採取船は、全部で 5 隻。その能力は年間 160 万 m³。県内の一般土木工事にも海砂が必要なため、全部を辺野古の工事に回すわけにはいきません。また沖縄県には、特定外来生物の侵入を防止するための「土砂条例」があり、他県からの砂の運び込みも困難です。

3 枚目の写真は奄美大島の海岸。昔砂浜はみんなが立っている左側の高さまでありましたが、沖の海砂を採取した 20 数年後の今、砂浜は、このように 2 m 以上も大きくえぐられてしまいました。

大量の海砂採取は、新たな環境破壊をおこします。



大浦湾側の埋め立て面積は 115ha。その約半分の範囲で地盤改良工事が行われる



イメージ図



沖の海砂を採取したら、20 数年後にはこんなことに。奄美でこんな海岸を何か所も見た。

普天間の危険性の除去を本当に願っているのなら 無条件で持ち主に返還を

■造っても、いずれひずみが

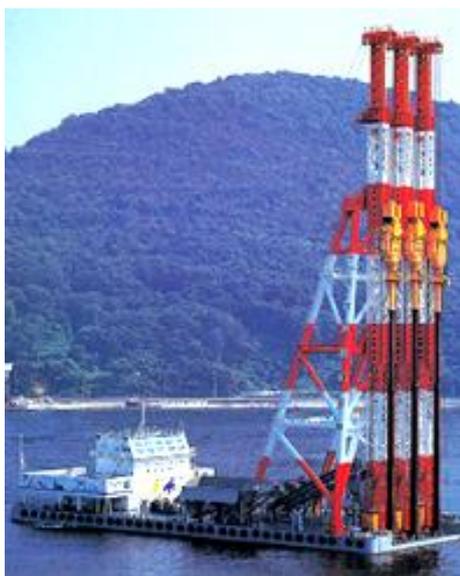
かりに水深 70m の所まで改良工事をし、新基地を作っても、20m のマヨネーズ地層を残したままでは、いずれ建造物にひずみが生じ、使い物にならなくなることは、素人目にも明らかです。

■日本と米国がやるべきことは

このような場所に巨大な建造物を作ること自体無理な話です。政府はそのことを率直に認めるべきです。普天間の危険性の除去を本当に願っているのなら、米国は条件(辺野古の新基地建設や築城の緊急配備など 8 つの条件があり全部クリアしないと普天間を返さないとやっている)を付けずに、奪い取った土地を、すみやかに持ち主に返すべきです。

■ちなみに普天間飛行場は

戦前、普天間飛行場のある所には、8800 人が暮らしていました。普天間は国際法のハーグ陸戦条約にも違反しています。政府が約束した普天間飛行場の「5 年以内の運用停止」が 2 月 18 日に期限を迎えています。



上…羽田空港の地盤改良工事の写真。イメージ図として掲載。

右…サンドドレーン船。一度関門海峡を通過しているのを見ましたが、橋げたまで 60m 程ある関門橋に「ぶつかるのでは」と心配したほど巨大なものです。(y)

左…サンドコンパクション船



《会費納入のお願い》…会員さんは増えているのですが、会費の納入率が悪く、財政支出を抑えている状況です。申し訳ありませんが、会報発行も現在 3 ヶ月に 2 回。今回は団体の所には通常 3 セット入れるところを 1 セットにしています。会費未納の方は、振り込みをお願いいたします。